

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和8年1月19日

**スポGOMI 甲子園埼玉県代表選手が
知事を表敬訪問し全国大会2連覇を報告します**

全国の高校生がごみ拾いを競い合う「スポGOMI 甲子園」全国大会で、埼玉県代表の埼玉県立川口工業高等学校掃除部が昨年度に続いて優勝しました。

このたび、同校の選手と関係者が知事を訪問し、大会史上初の2連覇について報告します。

● 表敬訪問の概要**1 日時**

令和8年1月21日（水）13時35分～13時50分

2 場所

知事室

3 出席者（予定）**●川口工業高等学校**

さくらい けんいち

櫻井 健一

教頭

まきのせ たかこ

牧之瀬 貴子

掃除部顧問

よしおか さとし

吉岡 悟

すずき かおる

鈴木 薫

選手（掃除部員、情報通信科2年）

せ こ たつゆき

瀬古 竜廉

たかはし はるき

高橋 陽生

●スポGOMI 甲子園 埼玉県実行委員会事務局

くろさわ まりこ

黒澤 万里子 株式会社テレビ埼玉 常務取締役

4 内容

令和7年11月30日（日）に東京都内で行われた「スポGOMI 甲子園全

国大会」における2年連続優勝について報告する。

<参考>

「スポGOMI 甲子園」とは

「スポGOMI 甲子園」は全国の高校生が定められたエリア内でごみ拾いを競い合い、「高校生ごみ拾い日本一！」を決める大会である。3名でチームを組み、競技時間の60分間であらかじめ決められた競技エリア内のごみを拾い、その質と量を競い合う地球にやさしいスポーツとなっている。「スポGOMI 甲子園」は2019年にスタートし2025年で7大会目、開催エリアは42都道府県に拡大している。

海洋ごみ問題への気付きをテーマに開催されるこの大会は、次世代へ海を引き継ぐために海を介して人と人がつながる、日本財団が推進する海洋ごみ対策プロジェクト「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環となっている。

川口工業高校は2020年大会及び2022年大会で全国優勝、2023年大会では全国3位の成績を収めている。さらに、2024年、2025年大会で2連覇した。